

令和2年度元石川高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証結果等

県立元石川高等学校は、事故・不祥事の発生をゼロにすることを目的として、不祥事ゼロプログラムを定め、これを実施した。

○項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
①法令遵守意識の向上	法令の遵守、服務規律の徹底。	事故防止に関する通知や啓発資料、教育公務員の不祥事に関する事案等を基にして、事故防止会議や朝の職員打合せ等で情報共有や注意喚起を行い、意識向上が図れた。若手、非常勤、臨任職員との面接等で助言をすることにより、全職員への徹底を図った。
②職場のハラスメントの防止	パワハラ・セクハラ・マタハラ等の未然防止。	事故防止会議で事例を基に注意喚起を行い、当事者意識を持つことができた。人権教育研修を実施し、人権感覚の醸成と人権意識の向上が図れた。
③生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒の人権尊重。わいせつ・セクハラ行為の未然防止。	事故防止会議や日常的な注意喚起により、生徒との適切なコミュニケーションが図れた。コミュニケーションツールの適切な使用の徹底が図れた。
④体罰、不適切な指導の防止	生徒理解に基づく指導の推進。不適切指導の防止。	生徒情報の共有と生徒理解を深め、丁寧で粘り強い対応を行った。生徒指導については複数職員による指導を徹底し、適切な指導が行われた。
⑤入学者選抜、成績処理及び進路官営書類の作成及び扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故の未然防止	入学者選抜ではマニュアルに基づいて間違いのない業務を徹底した。成績処理関係書類の作成及び取扱いについては、研修や日々の注意喚起を通して徹底ができた。進路関係書類の作成では複数のチェック体制で適正な処理ができた。
⑥個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報等の適切な管理及び情報セキュリティ対策の徹底	教務手帳の一元管理と、定期テスト答案等個人情報の誤配付・誤廃棄防止の徹底が図れた。「個人情報校外持ち出し許可願」等を活用して情報セキュリティ対策に関する意識の向上が図れた。
⑦交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転の防止、交通法規の遵守	交通事故防止及び交通法規の遵守	交通事故防止に関する啓発資料等を活用し、交通法規遵守の意識の向上と、事故発生後の適切な対応について確認を行った。
⑧業務執行体制の確保等	業務の効率化及び事故防止	ICTの積極的活用により、業務の合理化を図ることができた。複数職員での業務遂行、チェック体制により事故防止が図れた。
⑨財務事務棟の適正執行	財務事務等の適正執行及び不適切経理処理の防止	職員相互のチェック体制により、各帳票類の作成が適正に行われた。財務センターを軸に会計担当者相互に情報を共有することで経理処理が適正に行われた。

○令和2年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和3年度に取り組むべき課題

行動計画に基づき、事故・不祥事防止会議、研修会等を効果的に実施するとともに、朝の打合せ等において、新聞報道、県通知および関係資料等により、職員への情報提供及び注意喚起を行い、事故・不祥事の防止に取り組んできた結果、職員一人ひとりの意識の向上につながり概ね目標は達成することができた。

次年度においても、引き続き職員全体が一丸となり各項目において自分事として取り組みを進めていくつもりである。とりわけ、わいせつ・セクハラ行為の防止、体罰・不適切な指導の防止、入学者選抜に係る事故防止については、生徒の人権や将来に関わる重大な案件になりかねないことから、職員間の同僚性を高め、相互チェック体制を確立することで不祥事ゼロに向けて一層取組を深めていく。